日立総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究名称 （倫理審査番号）	大腸ESD後のpost ESD electrocoagulation syndromeに関する危険因子を検討した単施設後方視試験（2019-97）
当院の研究責任者 （所属）	鴨志田　敏郎（副院長・消化器内科主任医長）
研究期間	2019年12月２日～2020年12月1日
本研究の目的・意義	大腸内視鏡的粘膜下層剥離術後の遅発性穿孔の兆候とされる大腸内視鏡的粘膜下層剥離術後電気凝固症候群（PECS）に関して治療前にPECSを予測できる危険因子を検証する。
研究方法	●対象となる患者さん 選択基準：①大腸ESD適応となる大腸腫瘍患者、②入院時年齢が20歳以上の者、のいずれも満たす者。 除外基準：①遠隔転移を有する者、②腸管虚血や壊死を合併している者、のいずれかに抵触する患者。 ●方法 ESD適応の大腸腫瘍を対象に後ろ向きコホート研究。 大腸内視鏡検査の経験数が1000件を超えるものをexpert群，1000件に満たないものをnon-expert群とし，大腸ESD後のPECS発症に関して施行時間，腫瘍最大径，断端陽性率，PECSなどの因子について検討する。
試料/情報の他研究機関への提供および提供方法	他研究機関への提供はない
個人情報の取り扱い	①本試験で得られた情報は、セキュリティーが確保されたパソコンに一元的に保存される。 ②保存されたデータは匿名化された後に、本試験にのみ使用される。各種データは原則パスワードロックのかかるパソコンに、紙資料は本施設内の原則鍵のかかるロッカーに、本施設の試験責任医師が保管する。 ③パソコンに入力した保存されたデータは５年もしくは論文発表後３年のどちらか遅い方までの期間原則保存する。
本研究の資金源 （利益相反）	本試験は研究者が企業とは独立に計画し実施するものである。本試験の研究代表者および試験責任医師、試験分担医師には開示すべき利益相反はない。
お問い合わせ先	責任者：鴨志田　敏郎（副院長・消化器内科主任医長） TEL：0294-23-1111